

令和7年度 県立那珂湊高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	<input checked="" type="radio"/> A 妥当である <input type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価であることから主観的に分析、認識して、よい点は伸ばす、課題・改善点はしっかりとよい方向へ進める意識をもっておられれば、妥当なものさしと考えます。 ・評価についての根拠が曖昧なところがある。「総合的に判断した。」との説明であったが、数値目標が示されていると妥当性が増すと考えられる。 ・例年同様の方法で客観的に評価されていた。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	<input type="radio"/> A 妥当である <input checked="" type="radio"/> B おおむね妥当である <input type="radio"/> C あまり妥当でない <input type="radio"/> D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・DX活用については、使うことが目的ではないので活用場面の精査や検証が必要と考える。アナログや手書きの大切さも肌感で実感してほしい。 ・具体的な目標や達成状況について、毎回の改善状況の変化について情報がなく、取り組みが改善方法なのか、何が問題なのか把握しにくい。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	<input type="radio"/> A 十分把握している <input checked="" type="radio"/> B おおむね把握している <input type="radio"/> C あまり把握していない <input type="radio"/> D 把握していない	<ul style="list-style-type: none"> ・全てを完全に把握することは困難ですので、把握しようとする努力を常に心がけてください。 ・学校全体で課題を把握していきののかとを感じる面があった。(教職員・事務方含む) ・アンケート結果を分析し、課題を把握されるいる。回答率が低い点については改善が必要である。 ・学校が抱える課題は、入学志願者の減少である。また、教職員の残業規制、教職員減により課題取り組みに手が回らないことが大きな部分だと思い、それに対するアクションが見えない。

別紙様式3 (高)

<p>4. 学校の改善方策への対応は適切か</p>	<p>A 適切である <input checked="" type="radio"/> B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常に向上する意識を念頭に改善に努めてください。 ・具体的な改善策を挙げているので、実行につなげてほしい。地域の学校として、今後も連携を深めてほしい。 ・課題に対する改善の取組が不十分である。このままいくと打つ手がない。学校運営協議会でもっと時間を掛けて問題点の抽出と対応・課題について協議する必要がある。
<p>5. その他 (本校三つの方針、コミュニティ・スクールの取組等について)</p>	<p>A 適切である <input checked="" type="radio"/> B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由な校風、ビジョンが特色と考えます。枠にとらわれず一歩時代の先きを行くくらいの感覚でお願いいたします。 ・グラデーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは適切であるが、アドミッション・ポリシーは改善が必要。 ・生徒に身だしなみを問うのであれば、教職員は大丈夫でしょうか。自覚の問題かとは考えますが、学校の信頼にも関わるのではないかと。 ・非常にいい取り組みをされており、それらの見学の時間をもっと十分にとってほしい。